

栃木県スタートアップ企業支援に関する指針

策定の経緯

地方におけるスタートアップ企業創出の強化等を掲げる国の「スタートアップ育成5か年計画」を受けて、本県の実態に即した取組強化のため、産官学金からなる検討委員会を設置し、今後必要となる支援や取組の方向性を取りまとめた「栃木県スタートアップ企業支援に関する指針」を令和5年度に策定。

本県における課題

- ① **起業家マインド不足**
県民性に加え、学生や研究者等の、創造力やチャレンジ精神などの起業家マインドが不足
- ② **交流の機会不足**
スタートアップ企業を目指そう、事業者を応援しようという機運が醸成されておらず、コミュニティの形成も不十分
- ③ **情報発信、情報共有不足**
各支援機関の連携が一部にとどまり、適時適切な支援策がスタートアップ企業創業希望者等に届きにくい

取組の方向性

- ① **起業家マインドの形成**
大学等におけるスタートアップ企業創出のための取組を後押しすることで、意欲のある若者が本県に集まり互いに切磋琢磨できる環境を提供するとともに、産業界との連携を促進し、起業家マインドの形成をうながす
- ② **新たなイノベーションを生む交流の機会の提供**
県内においてスタートアップ企業、金融機関、支援者、県内企業等の関係機関が交流する機会を提供し、コミュニティの構築に努めるとともに、スタートアップ企業等と県内企業の連携を促進し、県内企業のイノベーションにつなげる
- ③ **創業しやすい環境等の整備**
各成長フェーズに応じた支援策の見える化に取り組むほか、支援機関等との意見交換を継続し連携強化を図る

栃木県（経営支援課）の令和8年度スタートアップ企業支援事業 全体像

